

令和3年度事業報告書

公益社団法人 宮城県航空協会

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

総括

令和3年度も当協会にとって厳しい状況が続く1年となりました。夏から始まった新型コロナウイルス第5波感染拡大により、宮城県にまん延防止等重点措置が発令され、当協会も感染防止のため8月27日から9月18日まで社会人、東北大ともに飛行活動を自粛しました。続く令和4年2月からの第6波の感染拡大では社会人は活動を継続しましたが、東北大は2月5日から3月25日まで飛行活動を自粛しました。

また、令和4年3月16日に発生した福島県沖地震では、角田事務所及びパイプハウスが被災しました。幸い機体及び機材の損傷はありませんでしたが、角田事務所の被災状況はひどく、柱を含めて建物自体が若干傾き、屋根の棟瓦が落下しパイプハウスが損傷しました。食器棚の食器類はほとんどが落下して壊れましたが、会員の協力により何とか居住可能な状態に復旧しました。現在は保険修理を行うべく鑑定を待っているところです。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年参加、協力していた多くのイベントが中止となりました。かさねて夏の長雨、冬の強力な寒気による降雪等、天候不順により活動日数が減少しました。しかしながら、飛行の内容は目を見張るものがありました。昨年度FAIの銀章を獲得した川原会員は、今年度金章と目的地、高度2つのダイヤモンド章を獲得、金山会員は滞空5時間、須田会員は獲得3,000m。それぞれ念願の滑空記章を達成しました。皆さんが厳しい状況に負けず挑戦し続けた成果が表れたと思います。東北大では、木田さん、橘さんが自家用操縦士の航空従事者実地試験に合格し、晴れて自家用パイロットとなりました。

年末年始は3回目となる角田ウェーブキャンプを開催しました。今回、北は北海道、西は名古屋。高校生、大学生、社会人と多くのグライダーパイロットが全国から集いました。前述のように厳しい気象条件ではありましたが、計11回のウェーブフライトが達成されるなど素晴らしい成果を上げる事が出来ました。

機材面では老朽化したリトリブカー（軽トラック）を更新しました。購入にあたっては会員各位から多くの寄付をいただきありがとうございました。

このように厳しい状況の中でも明るい話題が尽きない1年となりました。今後も新型コロナ感染の先の見えない状況が続くと思われませんが、感染防止策を徹底しながら活動を継続していく方針です。厳しい状況が続きますが、令和4年度も皆様のご協力をいただきながら、安全を心掛けて協会運営を行ってまいります。

事業の概要

【公益事業 1】

(1) 定款第4条第1号の事業（航空機の操縦訓練とその関連事業）

1-1. グライダーによる練習会を主に土曜、日曜及び祝祭日に行った。

【宮城県航空協会の部】

角田滑空場： 93日

延べ参加者人数：937名

機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	機 種 名
JA2326	126+07	547 回	複座 ASK21
JA2554	31+45	110 回	複座 ツインIII
JA2325	97+49	308 回	単座 ピラタス B4
JA2178	69+04	108 回	複座 SF28A フェルケ
JA2458	101+31	36 回	単座 Discus bT
合 計	429+07	1,106 回	

[団体会員東北大学航空部の部]

角田滑空場活動 : 53 日 延べ 620 人参加			角田滑空場以外の活動 : 0 日	
機 種	飛行時間 (時間+分)	飛行回数	飛行時間 (時間+分)	飛行回数
JA40AK	70+33	423 回	0+00	0 回
JA01VT	0+29	3 回	0+00	0 回
JA2173	38+03	295 回	0+00	0 回
JA2186	0+16	2 回	0+00	0 回
合 計	109+21	723 回	0+00	0 回

1-2. 訓練の成果

エンジンの無いグライダーの訓練成果の1つに滞空時間やクロスカントリーの野外飛行があげられるが、令和3年度の滞空時間の内訳

時 間	回数 (航空協会)	回数 (東北大)	合 計
1 時間以上	81 回	6 回	87 回
内 2 時間以上	42 回	2 回	44 回
内 3 時間以上	25 回	0 回	25 回
内 4 時間以上	14 回	0 回	14 回
内 5 時間以上	12 回	0 回	12 回

令和3年度の距離飛行の内訳 (OLC に投稿されたデータを集計)

日 時	使用機体	飛行距離(km)	備 考
2021/4/10	JA2458	188.74	
2021/5/4	JA2458	121.39	
2021/5/8	JA2458	342.61	
2021/5/29	JA2458	224.13	
2021/5/29	JA2326	96.76	
2021/5/30	JA2458	429.91	
2021/9/19	JA2458	57.57	
2021/10/3	JA2458	57.01	
2021/10/23	JA2458	291.63	
2021/10/24	JA2326	60.55	
2021/11/3	JA2554	55.81	

2021/11/20	JA2458	91.4	
2021/11/23	JA2458	384.7	
2021/11/23	JA2325	54.71	
2021/11/28	JA2458	94.92	
2021/12/27	JA2325	68.61	
2021/12/28	JA2458	356.75	
2021/12/31	JA2458	62.63	
2022/1/3	JA2325	53.47	
2022/1/3	JA2326	56.3	
2022/1/3	JA2554	74.11	
2022/1/9	JA2458	400.59	
2022/1/10	JA2458	57.18	
2022/1/29	JA2325	51.92	
2022/1/29	JA2326	54.99	
2022/1/30	JA2458	324.43	
2022/1/30	JA2326	117.92	
2022/1/30	JA2326	54.08	
2022/1/30	JA2325	50.63	
2022/2/5	JA2458	125.2	
2022/2/12	JA2458	55.81	
2022/2/20	JA2458	98.42	
2022/2/26	JA2458	403.32	
2022/3/12	JA2458	570.7	
2022/3/12	JA2326	137.22	
2022/3/20	JA2325	56.98	
2022/3/21	JA2458	151.9	
2022/3/27	JA2458	244.82	
合計		6179.82	

注：OLCとは：オン・ライン・コンテストの略。インターネット上で毎日記録のコンテストを行っているサイト。

- 1-3. 特定技能審査の実施 滑空機 航空協会 11名（うち東北大 0名）
 1-4. 操縦教育証明実地試験の受験 令和3年度の実績無し
 自家用技能証明実地試験の受験 航空協会 2名（うち東北大 2名 木田、橘）

(2) 定款第4条第2号の事業（航空機等展示、体験飛行、展示飛行による航空に関する知識、特に航空スポーツの知識の普及事業）

2-1 子供グライダー教室

スカイネット角田、スポコム角田と協力し子供グライダー教室を5回計画し、2回実施

第1回 開催日時：令和3年7月18日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供 6 名 保護者 7 名 スタッフ 1 名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行（JA2326,JA40AK,JA2173）

第 2 回 開催日時：令和 3 年 8 月 9 日

悪天候により中止

第 3 回 開催日時：令和 3 年 8 月 14 日

悪天候により中止

第 4 回 開催日時：令和 3 年 9 月 12 日

新型コロナウイルス感染拡大による飛行自粛のため中止

第 5 回 開催日時：令和 3 年 10 月 10 日

開催場所：角田滑空場

参加人数：子供 10 名 保護者 10 名 スタッフ 1 名

教室内容：ウィンチ曳航による体験飛行（JA2326,JA40AK,JA2173）

2-2 通常訓練時に角田滑空場の来場見学者にグライダーを説明し地上における体験搭乗を行った。
また、希望者には体験飛行を提供した。

開催日： 通常訓練時随時 48 日

訪問見学者：167 名がグライダーの説明を聞き、その内 67 名が体験飛行を行った。

その他阿武隈川堤防からの見学者多数あり。

(3) 軽飛行機、グライダー、モーターグライダーを使用した地上展示、地上搭乗体験及びデモフライト

3-1 角田市「宇宙っ子まつり」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

3-2 角田市「ファミリーサイクリングフェスティバル」参加者が角田滑空場へ来場見学会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(4) グライダー、モーターグライダーを使用した技量記章及び記録認定事業

4-1 日本滑空記章

A 賞 航空協会 5 名（芳賀、宍戸） うち東北大 3 名（山里、及川、棚木）

B 賞 航空協会 1 名（芳賀）

C 章 航空協会 2 名（三品） うち東北大 1 名（橘）

銅章 なし

4-2 F A I 国際滑空記章

銀章時間 5 時間 航空協会 1 名（金山 令和 4 年 1 月 29 日）

金章獲得高度 3,000m 航空協会 1 名（須田 令和 4 年 1 月 9 日）

金章距離 300 km 航空協会 1 名（川原 令和 3 年 5 月 30 日）

金章 航空協会 1 名（川原 令和 3 年 5 月 30 日）

ダイヤモンド目的地 航空協会 1 名（川原 令和 4 年 3 月 12 日）

ダイヤモンド獲得高度 5,000m 航空協会 1 名（川原 令和 4 年 3 月 27 日）

(5) 飛行技術研究とその成果の伝承事業

5-1 異常飛行姿勢からの回復操縦訓練

「錐もみ」状態に陥らないための訓練を中心に随時実施

5-2 ウェーブコンタクトフライト

最高到達高度	回数	備考
2,500m～3,000m	14	うち東北大3回
3,000m～4,000m	4	要酸素飛行
4,000m～5,000m	4	要酸素飛行
5,000m以上	8	要酸素飛行
計	30回	

5-3 高高度飛行及び長距離飛行の飛行技術研究及びその伝承

令和4年3月現在、川原明紘会員が OLC 日本で獲得ポイント 2232.51 で暫定日本1位
 令和4年3月12日、川原明紘会員が OLC で 575.43 ポイントを獲得し世界第3位

(6) 定款4条第5項の事業（その他この法人の目的達成に必要な事業）

6-1 東北大学ウインドノーツ（鳥人間コンテストに出場するクラブ）のテスト飛行

令和3年度の使用実績 3日

令和3年9月26日、10月3日、10月10日、10月17日(降雨中止)

6-2 航空安全講習会・滑空スポーツ講習会 2021

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインにて開催、適時会員が参加。

日時： 第1回 令和3年12月11日(土)

第2回 令和4年1月22日(土)

第3回 令和4年2月27日(日)

[公益事業 2]

1. 定款第4条第4号の事業（災害発生及び緊急時離発着場として提供できる関連施設の設置・運用と維持管理事業）

仙台空港の復興により仙台空港を基地とするヘリコプターを使用する航空会社は申請がなくなりました。しかし、災害や救急は何時発生するかわからないため、申請の有無にかかわらず着陸帯の草刈り等の整備維持管理を行いました。

庶務の概要

1. 社員及び会員の移動

	()内は正社員数	入会者数	退会者数
令和3年4月1日時点の総会員数	80名(75名)	2名	1名
令和4年3月31日時点の総会員数	81名(74名)		

2. 定款第13条第2項による社員総会の開催

- 日時 令和3年6月12日(土) 午後2時～午後3時
- 場所 宮城県航空協会 角田事務所 パイプハウス
- 出席社員 62名(うち委任状による出席者49名)

4.議事録署名人 議長 理事 滝川勉、代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、齋藤岳志

5.議題とその結果

(1)第1号議案 令和2年度事業報告書について

齋藤理事及び酒井理事より、令和2年度の実業報告について事業報告書に基づき説明が行われ、上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

(2)第2号議案 令和2年度決算報告書について

木村代表理事より、令和2年度の実算内容について決算報告書(貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、その付属明細書、財産目録)に基づき詳細に説明が行われた。

さらに、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告について欠席の片倉監事に代わり酒井専務理事が代読した。

上記の説明の後、議長が質問、意見を求めたが特に発言がなく、承認を諮ったところ異議なく、原案どおり満場一致をもって承認可決された。

6.報告事項等

(1) 令和3年度事業計画について

令和2年度第4回理事会(2月13日)にて承認された事業計画について報告した。

(2) 令和3年度収支予算について

令和2年度第4回理事会(2月13日)にて承認された収支予算について報告した。

3. 定款第31条2項による理事会の開催

第1回 理事会

1. 日時 令和3年5月1日(土) 17時10分~19時40分

2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所

3. 出席者 代表理事 木村義彦

理事 酒井忠政、齋藤岳志、佐藤忠義、滝川勉、山田昌宏、菅原寿、鳥居大地

監事 片倉修

Web出席 監事 神谷文夫

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、齋藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 令和2年度事業報告承認について

木村代表理事、齋藤理事及び酒井理事より、資料に基づき令和2年度事業報告について説明が行われ、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 令和2年度決算報告承認、監査報告について

木村代表理事より、令和2年度の実算内容について決算報告書(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)に基づき説明が行われた。

さらに、片倉監事より、上記の書類は適正に処理されていることが認められたとの監査報告があった。

審議の後、その賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

なお、議長より6月12日の定時社員総会に付議する旨の説明があった。

(3) 第3号議案 令和2年度定時社員総会について

定款第13条2項では毎年1回6月に開催すると定めており、令和3年度総会を6月12日(土)14時から角田事務所パイプハウスにて開催することが提案され承認された。

(4) 第4号議案 大地真吾さんの入会承認について

大地真吾さんから入会申込があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

第2回 理事会

1. 日時 令和3年8月7日(金) 17時15分～19時45分
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、山田昌宏、菅原寿、鳥居大地
監事 片倉修、Web出席 監事 神谷文夫
欠席者 理事 佐藤忠義
議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫
4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 阿井慎之介さんの入会承認について

阿井慎之介さん(東北工業大学工学部1年)から入会申込があり、この賛否を諮ったところ入会金が未納のため、入金を確認されるまで保留することとした。

(2) 第2号議案 神谷文夫監事の賛助会員としての入会について

神谷文夫監事から、正会員から賛助会員に変更することについては一旦退会し、定款第6条により賛助会員の入会申込書が提出され、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) 宮城県立入検査回答について

令和2年11月25日に行われた宮城県の立入検査の改善事項について、7月2日付で別紙のとおり報告し、その内容について木村理事長から説明があった。

(2) 耐空検査、トレーラーの車検終了について

JA2325、JA2326、JA2554の耐空検査及びそれぞれのトレーラー車検が終了した。

(3) 日本滑空協会へ2020年度滑空統計調査を報告した

第3回 理事会

1. 日時 令和2年10月9日(土) 17時00分～19時50分
2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所
3. 出席者 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、菅原寿、鳥居大地 監事 片倉修
Web出席 理事 滝川勉、山田昌宏 監事 神谷文夫
欠席者 理事 佐藤忠義
議事録署名人 代表理事 木村義彦、酒井忠政、理事 斎藤岳志、監事 片倉修、神谷文夫
4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

議決事項なし

5. 報告事項

(1) 新型コロナ非常事態宣言によるフライト活動中止(8月28日～9月12日)

(2) 「カクダフライトサービス」の無線機IC-A210を更改し、無線局の登録を完了した。

(3) 無線検査を TF ナビゲーションに依頼し実施

JA2178、JA2326、JA2325、JA2554 の無線機とトランスポンダーの検査を終了した。

(4) JSA 滑空スポーツ講習会(9月18～20日予定)の延期

新型コロナの非常事態宣言が出されたことから角田滑空場で行う予定の講習会は延期された。

(5) トランスポンダー2台購入の延期

更改には高額な費用が見込まれることから経理面を考慮し購入を延期することとした。

第4回 理事会

1. 日時 令和4年2月11日(土) 17時00分～19時00分

2. 場所 宮城県航空協会 角田事務所

3. 出席者 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、鳥居大地 監事 片倉修

Web出席 理事 菅原寿、山田昌宏 監事 神谷文夫

欠席者 理事 佐藤忠義

議事録署名人 代表理事 木村義彦、理事 酒井忠政、斎藤岳志、滝川勉、監事 片倉修、神谷文夫

4. 議題とその結果

議事の前に木村代表理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行状況について報告された。

(1) 第1号議案 令和3年度補正予算(案)承認について

木村代表理事より、令和3年度補正予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 令和4年度事業計画(案)承認について

斎藤理事より、資料に基づき令和4年度事業計画(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 令和4年度収支予算(案)承認について

木村代表理事より、資料に基づき令和4年度収支予算(案)について説明があり、この賛否を諮ったところ全員異議なく承認された。

5. 報告事項

(1) 個人所有単座機の扱いについて数回の打ち合わせを行い整理した。

(2) 12月25日～1月3日に行われたウェーブキャンプが無事終了したことが報告された。

ウェーブインが多数あり好評だったが、滑走路地盤の軟弱に悩まされる。

(3) コハタ看板店に依頼した滑空場入り口看板が12月10日設置された。

(4) 軽トラを「クサマモーター部」から購入「ホンダ4駆 仙台480く8614」

軽トラ購入寄付金は19名から540,000円が寄せられた。

(5) 老朽化した草刈り用トレーラー「角田8046」を2月10日に廃車した。

尚、補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成しておりません。